

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第93号 2018年11月5日



写真
「わっさむ」
「和寒フォトクラブ」
（表紙説明は11ページ）

p2 三笠山大学と懇談会

p6 町政を問う。一般質問に4議員が登壇

p11 Topic議会 ～上川管内研修～

p12 町民インタビュー聞かせて “和寒フォトクラブ”

大学生と意見を交換

～三笠山大学と議会との懇談会～



7月25日に、公民館恵み野ホールにおいて、32名の参加を得て三笠山大学と町議会との懇談会を開催しました。

内容は、各委員会から議会活動の報告をさせていただき、その後参加された皆さんからご意見等を伺いました。

議会からはこんな報告をしました

■総務福祉常任委員会

- 環境衛生について
- 第7期和寒町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
- 福祉・医療施設について
- 財産の管理状況について

■産業教育常任委員会

- 東丘浄水場について
- 町道バリアフリー化整備事業について
- 芸術文化鑑賞事業について
- わっさむ活活商品券について



意見交換

◇水害

Q 貯水池が決壊した場合、どう対処するのか。

A 和寒町には西和に1つ、中和に2つの貯水池がある。

中和の第1貯水池が決壊すると市街地まで水が流れてくる可能性もある。

中和貯水池は雨季に水位を下げてもらっているが、1時間に100ミリの降水があると放水せざるを得ない。想定外の防災対策を考慮する必要がある。

◇介護福祉施設

Q 要介護度3未満の方が独居できなくなった場合、町内に住み続けるには不安がある。

軽費老人ホーム建設など、対応策についての考えは。

A 非常に大切な問題と考えている。現在まで様々なところへ視察に行き、検討を重ねている。

一般質問などでも行政には要請しているが、まだ方向性は出てきていない。

今後、町民の皆さんからご意見をいただきながら進めていきたい。

●紙面の都合により、内容の簡略化やすべてのご意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。

また、多くのご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

参加者アンケート集計結果（抜粋）

●あなたの年代と性別は。

区分	男	女	未回答	合計	率
60代	0	0	0	0	0.0%
70代	7	18	1	26	83.9%
80代	4	1	0	5	16.1%
合計	11	19	1	31	100.0%

●議員に期待する役割について、どのようにお考えですか。

住民の要望を把握し、町政に反映させる	18	40.0%
町政へのチェック機能を果たす	8	17.8%
住民に町政に関する情報を伝える	15	33.3%
その他	0	0.0%
未回答	4	8.9%
合計	45	100.0%

※複数回答あり

●町議会に対するご意見・ご要望など。

- ①議員定数について、もう少し減らした方が良いと思う。
- ②身近なところで要望など申し出ていますが、何一つ良い方向に向いていない。今後、この町に住んでいけるかと不安です。

●このような懇談会を今後も行うべきと思いますか。

継続したほうが良い	25	80.6%
しなくても良い	0	0.0%
どちらでもよい	4	12.9%
未回答	2	6.5%
合計	31	100.0%

（参加者32人中31人回答
回答率 97%）

9月 定例会

あらまし

地震による停電発生 ～災害救助費補正へ～

9月定例会(第3回定例会)は、平成30年9月20日に開催しました。
奥山町長から行政報告が述べられた後に、一般質問を行い4人の議員が登壇し、その後、人事案

補正予算

【一般会計補正予算】

(全員賛成可決)

総額で約199万円の増額補正をしました。

9月6日に発生した胆振東部地震による停電の発生に伴い、避難所の開設や発電機設置などに係る増額補正。

また、雪害による各公共施設破損箇所の修繕に伴う増額補正などを可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

総額で528万8千円の増額補正をしました。

保険事業勘定では、過年度分の介護給付費負担金国庫・道返還金の精算による増額補正。

件や補正予算などの議案審議を行いました。
更に意見書2本を可決し、閉会しました。
なお、今定例会の傍聴者は延10人でした。

介護サービス事業勘定では、前年度繰越金の確定による財源振替を可決しました。(増減なし)

胆振東部地震に関する質疑 (全員協議会)

問

小・中学校は通常通り開校したが、その判断はどのようにしたのか。

教育長

朝5時に災害対策本部設置の連絡があり、その後、学校内で危険な箇所がないか、水道は使えるのかなどを学校長に確認してもらった。

給食を提供できるかが問題だったが、給食セン

問

行政から自治会に対して独居老人の見回りの依頼があったが、個人情報との関係上、独居世帯を把握できていない自治会もある。名簿などの整備が必要と考えるが。

保健福祉課長

防災計画の中で要支援者に関する計画を定めることになっており、避難行動要支援者名簿というものを作成して各自治会や民生委員の方に配布しながら計画を策定していくが、要支援者から同意をいただかなければならない。今後、早急に作成でき

委員会付託

【平成29年度国民健康保険町立和寒病院事業会計決算認定】
町立病院事業会計に係る決算について、決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中に審査することとしました。

報告

【平成29年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】
和寒町の財政状況は健全である旨の報告がありました。

人事

【教育委員会教育長の任命】
(全員賛成同意)

沓澤昭一氏(北町)を任命することに同意しました。

沓澤氏は平成26年から任命されており、今回で3期目になります。



▲沓澤昭一氏

(任期3年)

【教育委員会委員の任命】
(全員賛成同意)

佐々木きよみ氏(南丘)を任命することに同意しました。



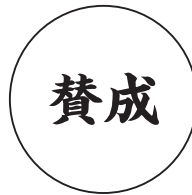
▲佐々木きよみ氏

(任期4年)

人事案件討論

沓澤教育長は今までの教育振興に前向きに取り組んできた。

人格も品位高潔なことから、最も適任と考える。



佐々木広行
議員

佐々木きよみ氏はいろいろな資格を持ち、これまでの経歴からも適任と考える。



石田利美
議員

※討論とは…他の議員を自分の意見に賛同させることを目的とする発言。

みんなの声を国政に

公益に関わる次の2件について、議員から意見書案が提出されました。
第3回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出されました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者：佐々木広行 賛成者：酒向 勤、石田 利美、金谷 浩幸 採決結果：可決(全員賛成)
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、
農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

(要旨)

地域の特性に応じた森林の整備を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要であることから、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。(全2項目)

道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者：金谷 浩幸 賛成者：中原 浩一、伊藤 明 採決結果：可決(全員賛成)
提出先：北海道知事、北海道教育委員会教育長、北海道議会議長

(要旨)

地域の意見・要望を十分反映させ、地域の経済・産業・文化の活性化を展望した新たな「高校配置計画」「高校教育制度」を創り出していくことが必要なことから、意見する。(全5項目)

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質問事項	ページ数
石田 利美議員	①防災対策の新たな取り組みは ②農業者の支援の取り組みは	7ページ
中原 浩一議員	①災害対策の見直しは ②町民の意見を町政へ反映していくのか ③国の補助事業の活用を町民へ	8ページ
下條 美恵議員	①除排雪に対する苦情と要望の対策は ②小中学生の重いかばん対策は	9ページ
酒向 勤議員	①公園の利用状況は ②次年度の水道料金は	10ページ

石田利美議員



問 防災対策の新たな取り組みは
答 災害時の燃料供給の協定を検討

問 農業者の支援の取り組みは
答 国や関係機関の動向を見極めたい

防災対策は

平成30年は、大雪の被害から始まり、7月3日・4日の大雨、そして9月6日の胆振東部地震が発生し、多くの死者、怪我人が出て甚大な被害がもたらされた。

和寒町では震度3の揺れがあり大きな被害はなかったが、その後の停電で町民に大きな不安があった。

町民の安心安全な防災対策についての新たな取り組みは。

奥山町長

近年は、台風や豪雨などによって全国各地で大規模な災害が発生しており、本町も2月から3月にかけての雪害、7月上旬の大雨、さらに9月に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電は、町民の生活に支障をきたした。

停電の発生時には、庁舎等の非常用発電設備の稼働によって、災害対策以外にも、窓口業務や消防業務がほぼ通常通り対応できたほか、上下水道も使用できた。

発電機のリース期間であったため、学校などの電源を確保した。

さらに、停電も一部の地域を除き結果的に24時間以内に復旧し、

町民の方々の被害は最小限に食い止めることができた。今回の停電に際して、町内燃料店において公共施設

に必要な発電機の燃料の確保と供給を行っていた。感謝しているが、停電が今回よりも長期間にわたった場合には支障をきたす恐れがあることから、町内の燃料取扱店と災害時の燃料供給に関する協定の締結について検討していきたい。

今後は、災害を教訓として、災害対策に活用すべき情報の収集に努め、必要な取り組みを検討したい。



▲停電時に稼働した役場非常用電源設備

農業への対応策は

今年は、気象状況により農作物の生育環境が非常に悪く、近年になく収量が減収しており、対応策は。

奥山町長

全国的な大雨や台風被害に加え、北海道胆振東部地震によって、農作物の品薄が予想されており、今後の市場価格や共済補償制度、国や農業団体による農業者への支援の動向を見極めしていきたい。

○再質問

各自治会館にトラックター駆動の発電機を設置しては。

奥山町長

各自治会館の非常用電源は今回の教訓も合わせて検討していきたい。



▲大雨災害により法面崩壊を受けた圃場

問 災害対策の見直しは
答 自治会と共有し、安全な環境を作る



中原浩一議員

問 町民の意見を町政へ反映していくのか
答 配置している職員の役割を検討していく

災害対策の見直しは

今回の地震は身近に起きたライフラインが寸断される大きな災害となった。

本町も約1日近い停電が起これり、不安な一夜を過ごした。

大雨災害や大きな地震などあらゆる災害を想定した防災対策を見直すべきと思う。

食料・水の常備、自家発電機能と避難場所の発電機能をどう確保するのか。

奥山町長

町では、非常食が1,300食（一部の地域を想定した3日分）備蓄している。

停電のため長期化すると食料が不足する恐れがあるので、できる限り保存が可能な食料の調達に取り組んだ。

飲料水2ℓのペットボトル360本を備蓄しており、地下水の53世帯には水道水を配布した。

今後の防災対策については、停電となった場合は、外部の支援が期待できない状況での長期的な対応は非常に難しい

と想定、この度の災害を教訓に必要な取り組みを検討する。

○再質問

今回は、停電という二次災害に見舞われたが、冬期であれば大変なことになっていたのでは。

自治会と協力し高齢者などの避難・安否確認体制のマニュアルを構築し、停電が長時間にわたる場合は避難場所に発電機を用意できる体制、また発電機を持っている町民と協定を結ぶなど万全な体制を整えるべきと思うが。

広富副町長

全町民が一斉に停電被害をうけたことは無かった。

各避難場所においての電源確保も課題であり、町民の皆さんとも共有しお互いに助け合う共助の関係を持ち、災害対策に安全に避難できる環境を作っていきたい。

町民の意見を町政へ反映していくのか

どのように町民の意見を幅広く聞いて、町政に反映しているのか。

奥山町長

12自治会と懇談会を実施しており、その他子育て世代のお母さんの集会、農業者・高齢者なども個別に訪問し多くの意見に耳を傾けるよう努めて、出された意見・要望を踏まえ、町独自に取組めるものは次年度に反映している。

○再質問

町長ひとりでは限界ある。各自治会に配置している地域担当職員の役割等をどう考えているのか。

奥山町長

行政区から自治会に移行する時の事務が進むようサポート役として配置したと伺っているが、見直しの対象として職員にプラスになる方向で考えていきたい。



▲町政懇談会（大通自治会）の様子

国の補助事業の活用を町民へ

小規模自治体の財源には限りがあることから、各都府の補助事業の情報を把握し、町民に周知して有効活用してもらい、足腰の強い農業地域になるような街づくりを進めていくべきと思うが。

奥山町長

地方交付税は減額となっており、補助事業については本町の産業がさらに発展していくるように、必要な情報を周知し、丁寧な説明に努めてまいります。

下條美恵議員



問 除排雪に対する苦情と要望の対策は 答 事業者と連携しながら取り組む

傾向と対応は

今年度の雪対策として8千万円の予算を計上している。これまで寄せられた除排雪に対する苦情や要望の傾向と対応はどのようにしていたのか。

また、今後どう対策していくのか。

奥山町長

現在除雪は、車道157.9km、歩道3.7km、市街地の排雪19.7kmを実施している。

これまで、苦情や要望をいただいた際には、その都度、現地確認を行って対処している。

除排雪のシーズンが始まる前には、交差点の雪山撤去や吹きだまり箇所の早期解消など、例年注意すべき事項を事業者と確認しながら作業を進めている。

今後、日常生活に支障をきたさないよう、事業者と十分連携しながら取り組んでいく。

○再質問

苦情の対応で現地確認は誰がしているのか。

また、記録を残して次年度に活かしているのか。

菊地建設課長

対応は、職員が行く場合と、事業者の方と一緒に確認して解決している。

苦情処理簿のようなものはないが、担当者がメモ帳などに記録して次のシーズンに向けて対応している。

○再質問

メモしたことを口頭で伝えるより、しっかりと記録をすることで傾向と分析ができ、二度と同じような苦情がないようにすることがベストでは。

奥山町長

町民個々の考え方とか価値観で、苦情もあれば、和寒町の除雪は綺麗だと言ってくださる方もいる。

生活しやすい環境にするのは行政の任務だが、町民のみならずと協力し合って住みやすい町にしていける環境を作れ

るよう努力したい。

○再質問

交差点が見えづらいなどの苦情が多いと思うが、現状の機械に加え、小回りのきくトラクターを増やす考えは。

菊地建設課長

国に、和寒町除雪機械整備計画を提出しており、今の区域の中で新しい機械を補助金で買うことはできないため、この作業でトラクターを買うという議論には至っていない。

小・中学生の

重いかばん対策は

子どものかばんが重いとの意見を踏まえ、文部科学省が通学時の持ち物負担の軽減に向け、適切に工夫するよう、全国の教育委員会に求める方針を決めた。

ゆとり教育から脱ゆとり教育の転換後、教科書の総ページは小学生で34.2%、中学生で34%増えた。

成長期の子どもが重い荷物を背負うことで、身長の伸び

や腰痛、肩こりなど、健康への影響を危ぶむ声もある。和寒町の現状と対策は。

杏澤教育長

9月6日付けで文部科学省から連絡が届き、持ち帰らせるもの、学校に置くものなど、発達段階や学習の必要性、通学上の負担などを考慮して、適切に配慮を講じていただきたい旨の内容だった。

小学校では絵の具セットや鍵盤ハーモニカ、裁縫セットなど置いておくことを認めていたが、更に軽減できないか、検討委員会を設置し、検討を始めている。

中学校も既に取り組んでおり、今年度の保護者、生徒の学校評価から、生徒の負担軽減を図るため、その範囲の拡大を検討している。



問 公園の利用状況は
答 公園管理条例を含め見直す



酒向 勤議員

問 次年度の水道料金は
答 水量の少ない家庭も検討

温泉跡地、
夫婦岩の位置付けは

公園設置及び管理条例には
三笠山自然公園と中央公園、
南丘森林公園の3カ所がある
が、新しく取得した塩狩温泉
跡地と夫婦岩はどうなるのか。

奥山町長

三笠山自然公園では、家族で子供の国やバンガローを利用しているほか、サイクリングやツーリングなど少人数で来町した方がキャンプ場にテントを張って利用している。

南丘森林公園では、自然を満喫して本格的なキャンプを楽しむお家庭やグループがフリーサイトにテントを張っている。

キャンピングカーで長期間の道内旅行している人は電源の使用ができるオートサイトを利用してはいる傾向にある。

フリーサイトは1泊1張り1千円、オートキャンプは1泊1張り2千円としている。

現在、役場庁舎内では、事務事業全般の見直しをしているので公園の使用料も検討し

たい。

次に、塩狩温泉跡地や夫婦岩などの周辺整備についてはこの取り組みだけで和寒町に人を呼び込むことに限界がある。

塩狩を道北地域に人を呼び込む入口として位置付け、近隣市町村とも連携して、地域全体を魅力あるものにしていくことが大切であると考える。

このため、今後関係団体や関係機関と連携し、フットパスやサイクリングなどにより、南丘森林公園を含めた塩狩峠周辺を道北の入口として魅力ある地域にしていけるように取り組んでいく。

○再質問

和寒町の公園管理条例の中には町民の憩いの場として、休息、散歩、遊戯、運動、鑑賞と総合的な利用しか無く、観光客のことは一言もないが。

奥山町長

塩狩峠周辺について、どのように人を呼び込むか整備している。

このような位置付けを含め

条例そのものを改正するのか、もしくは新しい条例を作るのか、利用料も含めて見直しの対象にすべき課題と考えている。



▲旧塩狩温泉跡地で開催された植樹祭

水道利用が

8 t 未満の方が多いが

8 t 未満の方が38%もいる。新年度は、少量利用者の利用料金の設定を考えているのか、また水道料金設定は。

奥山町長

水道会計の収支バランスは歳入については、浄水場事業計画変更で推計した給水人口を基に推計し、歳出は、新浄水場建設に関わる起債償還、これまでの償還金に加え、今

後計画している北原・菊野地区浄水場の電気設備改修事業に関わる工事費を含めると36%の歳入不足になる。

現在、簡易水道事業特別会計における収入の不足分は一般会計から補っている。

課題の病院や老人福祉施設への一般会計からの赤字補填の他、さらに水道会計の歳入不足を考慮すると水道料金を改定せざるを得ない。

上川管内23市町村のうち和寒は18番目くらいで、水道料金を8 t としている自治体が多いが、その他4 tあるいは2 tの自治体もある。

単身者で少量の水しか使わない家庭もあるので、今後検討に当たって参考にしていく。



▲北原・菊野地区（三和）浄水場



8月28日開催
**第2回町議会
臨時議会**

【一般会計補正予算】
(全員賛成可決)

7月3～4日に発生した大雨災害による農地・農業用施設復旧補助や、森林資源FS調査に係るものなど、総額4,255万6千円の増額補正を可決しました。

10月18日開催
**第3回町議会
臨時議会**

【一般会計補正予算】
(8名賛成可決)

ふるさとまちづくり応援寄附金に係る返礼品や積立金などに関して、2,910万円の増額補正を可決しました。

表彰

和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。
(全員賛成可決)

功労表彰

- 樋口 稔様 (北町)
- 林 健一様 (西和)
- 加藤 健一様 (西和)
- 山田 洋子様 (北町)
- 藤村 光司様 (三笠)

委員会付託

平成29年度和寒町各会計歳入歳出決算認定について、決算審査特別委員会に付託しました。

常任委員会

合同視察

8月1日に常任委員会合同視察を行いました。

東川町では、有限会社栄友に伺い、サービス付き高齢者向け住宅をはじめ、介護福祉事業の取り組みを視察しました。

美瑛町では、社会福祉法人美瑛慈光会に伺い、

特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護などの取り組みを視察しました。

3町議会

議員研修会

8月29日に幌加内町で開催された標記研修会に参加しました。

上川総合振興局地域創生部地域政策課長の石井順一郎氏より「上川総合振興局の地域創生の取組」と題した講演を受けました。

今年の作柄は？

農作物生育状況調査

8月31日に農業委員、JA役員、町理事者など、町内関係機関合同での農作物生育状況調査が行われ、本議会も同行しました。

道路・施設等

工事箇所を視察

10月18日に本年度発注した工事の現地調査を行いました。

全12箇所をまわり、担当者から各工事の概要の説明を受けながら、進捗状況等を確認しました。

上川管内町村議会

議員研修会

10月23日に当麻町で開催された標記研修会に参加しました。

はじめに「豆腐バカ、世界に挑む」と題し、元米国森永乳業社長の雲田康夫氏の講演を受け、その後、「山形屋の『北海道主催北海道の物産と観光点』への取組み」と題し、山形屋百貨店カリス・バイヤーの日高博昭氏の講演を受けました。

表紙の写真

「目指せコンプリ」

壁に無造作に並ぶ色とりどりの突起。9月からこども館にお目見えした「クライミングウォール」だ。靴を脱いでいざ挑戦。

慎重に突起を選んで進むと、スイスイ迷いなく進む。どちらの子も、最後まで落ちずにゴールするのが目標だが、簡単ではなさそうだ。「あの黄色くてバナナの形をしたのが難しいんだよ。」と難所を教えてくれた。目指せコンプリ！



町民インタビュー 聞かせて 和寒フオートクラブ “写真は奥が深い!!”



創立52年になる『和寒フオートクラブ』
会長虻川勝明さんにお話を聞きました。
後日、町民文化祭の作品を展示する様子取材しました。

会の活動は？

撮影会と作品展示が主な活動です。
1月から2月の2カ月間は、作品を入れ替えながら図書館で、5月から10月の半年間は、北原交流展示館でそれぞれ作品の展示をさせていただいています。

ただ残念なのが、展示スペースが限られているので、大きな作品も制限があり、大きい作品が展示できません。

9月には、町民文化祭の作品展示に向けて、町民モデル撮影会を白金温泉の自然の中で行っています。

町民文化祭の展示が終わった後に例会を開き、お互いの作品の批評を言い合うこともします。

現在の会員数は？

12名です。
その他にお休み中の方もいますが、会員はいつでも募集しています。

写真の魅力は？

私が写真を始めたきっかけは、友人のカメラを借りて風景や人物を撮っているうちにはまってしまい、撮れば撮るほど奥が深いと感じます。

今はデジタルカメラが主流ですが、私はフィルムカメラにこだわっています。

デジタルはデータをパソコンに取り込めばどのようにでも修正が可能ですが、フィルムは修正ができないので、現像できるまでの楽しみがあります。



また、写真を永く保存したいならフィルムにかなわないと思っています。

今後の活動は？

以前は夏にも撮影会を行っていました。

撮影に行ってみたいところはたくさんありますが、会員も高齢化が進み自分で運転しての移動も長距離は大変です。

文連に加盟しているので町外研修用のバスを利用したいが、15名以上の枠があつて利用できないのが残念です。



広報委員の一言

胆振東部地震の記憶はまだ新しいと思います。

和寒町は、地震もななく台風もあまり来ないので安心なところだと伺うことがあります。

しかし、意外なところに災害は潜んでいるものですね。

ブラックアウトという北海道全域が、停電になるとは思ってもいませんでした。

東日本大震災の経験を基に、役場庁舎には大型の発電設備が備え付けられています。

停電の夜には携帯の充電などにいらした方も多かった様です。

また、この災害が真冬だったらと心配されると思いますが、町有林の間伐材によるバイオマスチップボイラーも設置されています。皆さんのご家庭の準備は大丈夫でしょうか。

(勤)